

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月31日（金）

2 確認箇所

- ・ 8. 5m盤（SPT受入水タンク）
- ・ 33. 5m盤（淡水化装置（RO-3）ハウス近傍）
- ・ 1/2号機共用排気筒（1/2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- （1）淡水化装置信頼性向上に係る対策の状況
- （2）1/2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

- （1）淡水化装置信頼性向上に係る対策の状況について

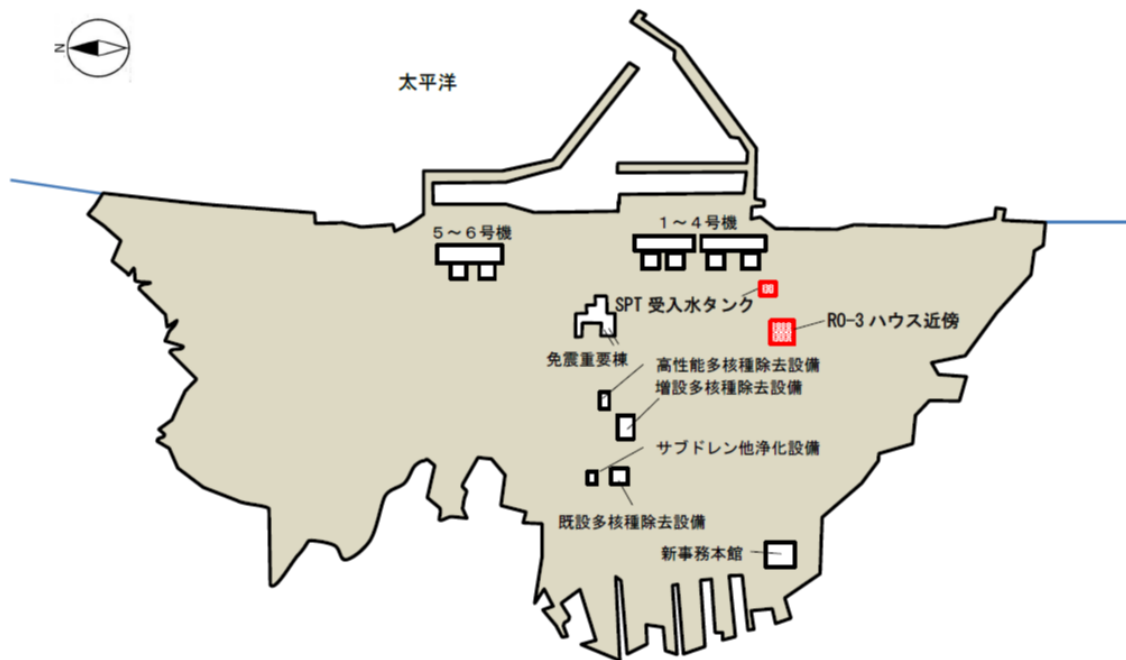
淡水化装置（以下、「RO」という。）は滞留水を原子炉注水に再使用するため、滞留水に含まれる塩分を除去することを目的に設置されている。

現在運用されているROの一部機器については、Bクラス水平震度の2倍に耐える評価（参考評価）を実施しておらず、対象機器により解体撤去又は機器の堰内面にライニング（防水塗装）施工し、地震時の系外漏えいに対し、信頼性を向上させる対策の実施を計画している。

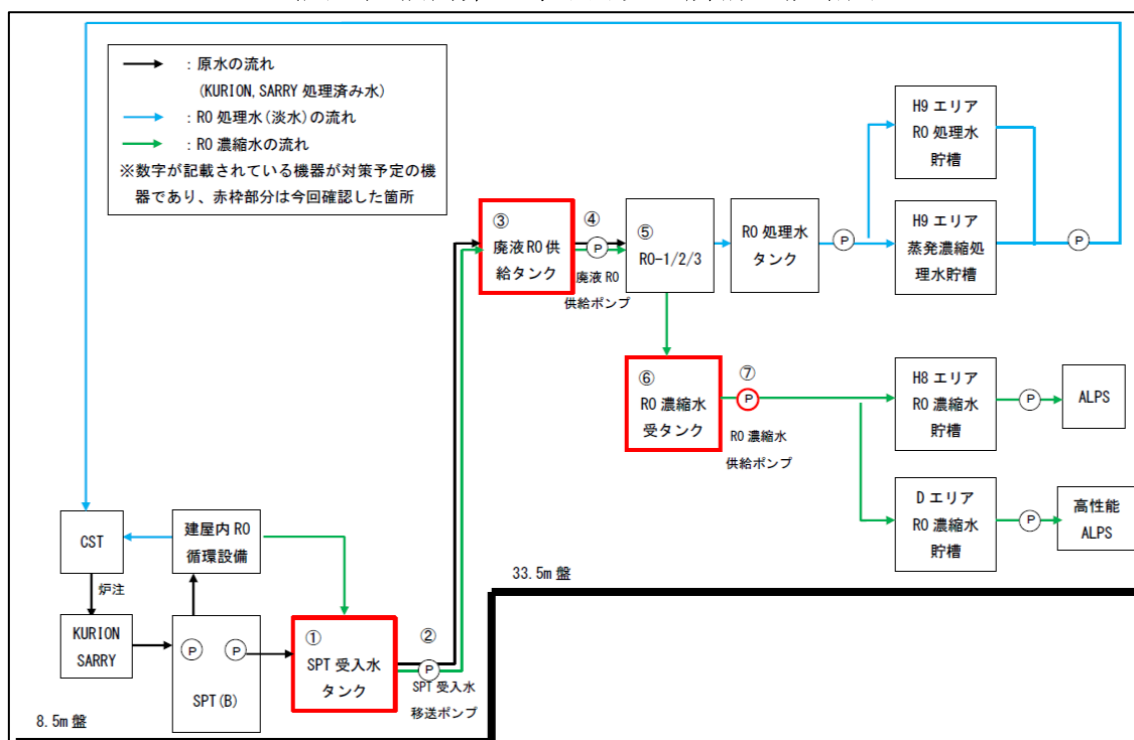
本日は、SPT受入水タンク、廃液RO供給タンク、RO濃縮水受タンク及びRO濃縮水供給ポンプの堰内面のライニング施工の状況を確認した。

（図1、図2）

- ・ 本日確認した上記4箇所全てで堰内にライニング施工が実施されていた。（写真1）
- ・ 東京電力によると、SPT受入水タンク、廃液RO供給タンク、RO濃縮水受タンクのライニング施工は平成30年度に実施しており、RO濃縮水供給ポンプのライニング施工は令和元年度に実施したとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) RO 処理系統概要図



(写真 1 - 1)

SPT 受入水タンク付近 (南東側から撮影)

タンクはテント内に設置されている



(写真 1 - 2)

タンク南側のライニング施工状況
赤点線部がタンク堰内面のライニング箇所



(写真 1 - 3)

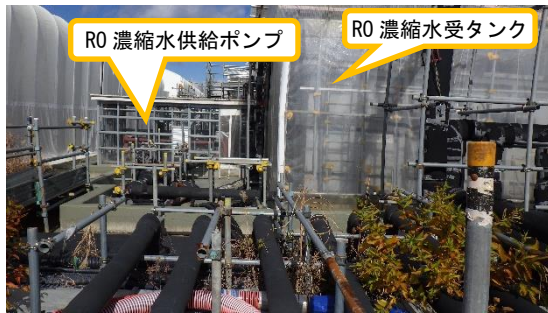
廃液 RO 供給タンクエリア外観 (南東側から撮影)

エリア内に複数基タンクが設置されている



(写真 1 - 4)

廃液 RO 供給タンクエリア東側のライニング施工状況



(写真 1 - 5)

RO濃縮水受タンク及びRO濃縮水供給ポンプ外観（南側から撮影）
タンクはテント内に設置されており、ポンプは小屋の中に設置されている



(写真 1 - 6)

ライニング施工状況
奥側がタンク堰のライニング箇所、手前がポンプ堰のライニング箇所

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は昨年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、11ブロック目の解体が1月27日から開始されたことから状況を確認した。

- ・現地確認時（11時40分頃）には解体装置は地上に着座しており、2号機原子炉建屋西側ヤードで点検が実施されていた。（写真2）
- ・東京電力によると、本日4時20分頃筒身の50%切断が完了し、7時5分頃に解体装置が地上に着座したとのことであった。（写真3）



(写真 2)

2号機原子炉建屋西側ヤードの状況
複数の作業員が点検を実施していた



(写真3)
排気筒頂部の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。